

ホテル・旅館  
21年度の倒産

前年比48%減少

帝国データ  
調査 各種支援で抑制

帝国データバンクがこのほど公表した2021年度（2021年4月～2022年3月）のホテル・旅館経営者の倒産（負債1千万円以上の法的整理）は前年比47・9%減の61件と、この10年で最も少なかった。コロナ禍での国や自治体による資金繰り支援などが中小零細企業の倒産を抑制していると見られるが、今後はこれら融資の返済が本格化する見通し。原材料価格高騰など、経営を圧迫する他の材料もあり、倒産や休廃業の増加につながらないか、先行きが懸念される。